

平成 2 9 年度事業報告書

第 7 期

自 ; 平成 2 9 年 4 月 1 日

至 ; 平成 3 0 年 3 月 3 1 日

特定非営利活動法人上島ポップコーンの会

愛媛県越智郡上島町弓削下弓削 2 2 6 番地

平成29年度事業報告書

平成29年4月1日から平成30年3月31日まで

特定非営利活動法人上島ポップコーンの会

1 事業の成果（総括）

27年4月1日の「さぎょうしょポップコーンのいえ」開設から3年が経過した。今年度は通所頻度はまちまちだが、清掃業務従事者を含めて10名が利用された。

懸案となっていた指導者も1名確保でき、5月より午前中3時間利用者のサポート体制が取れるようになった。

利用者の生活の質向上を実現するため余暇活動の充実、健康増進・維持活動の充実を図る取組においては、新たに、いきなスポレクインストラクターの指導の下、上島町海水浴施設「潮湯」にて毎月1～2回のペースで水中歩行浴を行うこととした。この潮湯での時間は参加者にとって大変楽しい時間になっているようである。また、以前より島おこし協力隊員と行っていた散歩を中心とした運動活動の成果を発揮する場として、3月4日に行われた「いきなマラソン大会」健康マラソン3kmの部に2名がエントリーし、伴走補助者のサポートを得て見事完走することができた。

そのほかにアート活動においては、愛媛県障がい者文化芸術祭「48時間デザインマラソン」に参加し、障がい者の文化芸術活動を通じた社会参加の可能性について探った。また「愛媛県障がい者アート展」への作品出品も行った。

これらの活動は、島おこし協力隊隊員、住民ボランティアの方々のご協力を得て行った。昨年度から更に多様な活動に取り組むことができた。

また、地域と関わりをもつことで互いの理解を深める活動の一環として、町内保育所と定期交流（月1回）を開始。小学校とは昨年度に引き続き学期ごとに1～2回のペースで交流する機会を持ったほか、教育委員会生涯学習課と連携して、地域ふれあい学習会やあいあいフェスタで住民の方々に、障がい者理解を深めてもらうための取組を行った。

来年度は、引き続き地域活動支援センター移行に向けた実績づくりを進めていくと共に、さぎょうしょポップコーンのいえに求められる役割の多様化に対応できる体制づくりとの一環として、日中一時支援事業立ち上げの検討を行う予定である。地域交流も更に充実させていきたいと考えている。

以下、事業ごとに活動報告をまとめた。

2 事業の実施に関する事項

特定非営利活動に係る事業

定款の事業名；障害を持つ人の働く場、生活の場としての作業所の運営に関する事業

主な内容；①パンの製造と販売

個人別に出来る仕事を見つけて取組んでいる

例) パン捏ね機の操作、パンラベル作成、袋詰め、洗い物、清掃、ゴミ出し

販売先; ・ポップコーンのいえ店頭販売

- ・佐島「しまのひろば」での定期販売(毎週木・土曜日)7月15日オープンより通年
- ・上島町内出張販売(小中高校・保育所・社協ほかへ随時)
- ・上島町内バザー出店(手しごと市・いわぎ桜まつり・ふるさと夜市
産業まつり・上島町社協福祉フェスタ・弓削駅伝・いきなマラソン
大会・あいあいフェスタ)
- ・下弓削祭
- ・今治市(今治特別支援学校文化祭出店)
- ・尾道市(因島北認定こども園・(株)ステージ)

主な内容; ②余暇・健康増進・維持活動

- ・絵画教室(月1~2回)
愛媛県障がい者文化芸術活動「48時間デザインマラソン」
9月13日(水)~14日(木)松前町エミフルMASAKI
愛媛県障がい者アート展出品 3名
12月4日(月)松山市堀之内 愛媛県美術館
公共交通機関を利用した見学研修会実施
- ・散歩を中心とした運動活動(週1回)
いきなマラソン大会(健康マラソン3kmの部)
3月4日(日)2名エントリー(完走)
- ・作業療法士による作業療法(月1回)
タンデム自転車乗車体験(5月31日・11月8日)
- ・潮湯での水中歩行浴(月1~2回)

従事者; 上島町役場職員・島おこし協力隊隊員・いきなスポレクインストラクター
理事・正会員・ボランティア 12名

受益対象者; 上島町で暮らす身体・知的・精神障がい者 8名

今後の課題; ・岩城地区・魚島地区への販路拡大方法

- ・作業所内労働のほか、作業所外で働く所=短時間労働の受け入れ先

定款の事業名; 障害を持つ人の就労支援および地域交流事業

障がい者就労支援として、上島町からの委託業務作業を始め、以下のような作業をおこなった。上島町役場は障がい者優先調達推進条例に基づき、昨年度と同様に当会の活動を後押ししてくれた。

継続業務(役場関係)

- ・生名立石港務所清掃(1月1日除く毎日)
- ・生名地域交流センター清掃(月2回)

- ・上島町特別養護老人ホーム海光園へ納品（月1回）
- ・敬老会用クッキー受注（弓削地区、魚島地区分）
- ・上島町×弓削商船コラボお土産用クリップ袋入れ（500個）
- ・岩城コミュニティーセンター清掃（月2回）
- ・上島町健康診断案内文書封入作業（およそ6000件）
- ・高齢者インフルエンザ予防接種案内文書封入作業（およそ3100件）

（民間事業所関係）

- ・農作業補助（ブルーレモンファームにて）

従事者；理事・正会員・支援者・上島町社会福祉協議会職員

ブルーレモンファーム職員 9名

受益対象者；上島町で暮らす身体・知的・精神障がい者 10名

地域交流事業としては、以下のようなことを行った。

保育所；園児と遊ぶ形で交流した

弓削保育所 6月21日・7月19日・11月15日・12月20日

1月17日・2月21日

計6回

小学校；昼休みを共に遊ぶ形で交流した

生名小学校 5月10日・6月2日・10月18日・10月25日

2月28日

計5回

交流を重ねるごとに、児童の対応から戸惑いが減ったと感じた。直に接することが障がい者理解を深めると実感した。

中学校；弓削中学校生の職場体験受け入れを行い、パン作りに関心を持っている2年生徒

1名が体験作業を行った。7月5日（水）～6日（木）

計2日

高等学校；夏休み中に弓削高等学校の生徒さんに運動活動の補助をボランティアでお願いした。（2回）

視察来所；生名小学校教職員 8月23日（水）

四国中央市社会福祉協議会・同市新宮町「茶れんじ」 9月14日（木）

愛媛県社会福祉協議会 地域福祉推進研究会 11月22日（水）

伊予郡松前町社会福祉協議会・同町民生委員 3月

定款の事業名；障がいを持つ人、家族への生活相談事業

今年度も引き続き、上島町発達支援センターや上島町社会福祉協議会と連携して、就労に関する相談、障がいのある人の居場所作りについての話し合いを随時進めた結果、ささ

えあい隊が運営する弓削下弓削地区の交流拠点「ENGAWA」での集いの場に当会利用者が参加させてもらうことになった。(月1回)

従事者；理事・上島町社会福祉協議会職員・ささえあい隊

受益対象者；上島町で暮らす知的・精神障がい者 2名

定款の事業名；その他、目的を達成するために必要な事業

神奈川県相模原市の障害者施設入所者殺傷事件を受け、当会としてどのような防犯対策ができるか検討するため、専門家を招いて講習会を開催した。

実施日；6月23日(金)・27日(火)

講師；伯方警察署 弓削駐在所 村上敏郎 警部補
上島町消防本部 総務予防課 澤村康弘 課長補佐

対象者；当会理事2名、上島町住民課担当職員(同席)

現在、事業所が抱える問題点の解決方法を考えるために、尾道市因島において長年障がい者福祉活動に取り組んでおられる団体のお話を伺う機会を持った。

実施日；6月23日(金)

講師；社会福祉法人若葉 副島基嗣氏

対象者；当会理事2名、上島町教育委員会 濱田和保教育長(同席)

その他、地域での交流活動を円滑に進めるため、上島町人権教育協議会と上島町特別支援協議会の委員として活動を行っている。今年度は、役員会(委員会)に出席するほか、下記の行事に役員(委員)として参加した。

行事内容①；生名地域ふれあい学習会

実施日；6月18日(日)

従事者；理事長

行事内容②；四国地区人権教育研究大会

実施日；7月13日(木)～14日(金)

場所；愛媛県松山市

従事者；理事長

行事内容③；愛媛県人権・同和教育研究大会

実施日；11月7日(火)

場所；愛媛県松山市

従事者；理事長

活動計算書

平成29年4月1日 から平成30年3月31日 まで

(単位:円)

科 目	金 額	
I 経常収益		
1. 受取会費		
会員会費収入	0	
賛助会員会費収入	3,000	3,000
2. 受取寄附金		
受取寄附金	0	0
3. 受取補助金等		
受取地方公共団体補助金	1,500,000	1,500,000
4. 事業収益		
業務受託収入	1,130,480	
物品販売収入	1,774,063	
負担金収入	15,000	
その他事業収入	1,488,166	4,407,709
5. 受取利息	21	21
経常収益計		5,910,730
II 経常費用		
1. 事業費		
期首棚卸高	0	
パン材料費	498,250	
パン消耗品費	76,311	
仕入高	52,112	
期末棚卸高	△ 33,478	
施設使用料	11,480	
福利厚生費	36,000	
給料手当	1,864,827	
通勤交通費	378,340	
通信費	3,380	
水道光熱費	455,464	
消耗品費	53,409	
講師料	82,240	
諸会費	5,000	
旅費交通費	93,070	
バザー経費	7,000	
減価償却費	207,353	
有償ボランティア費	391,000	
事業費計		4,181,758
2. 管理費		
法定福利費	3,776	
福利厚生費	8,000	
通信費	112,919	

荷造運賃	1,480		
水道光熱費	73,899		
旅費交通費	8,200		
事務用消耗品費	29,867		
修繕費	30,000		
地代家賃	36,500		
車両燃料費	33,801		
保険料	68,920		
租税公課	12,900		
諸会費	36,030		
交際費	6,000		
支払手数料	5,768		
管理諸費	54,000		
減価償却費	1,548,533		
支払利息	82,572		
雑費	1,500		
管理費計		2,154,665	
経常費用計			6,336,423
当期経常増減額			△ 425,693
Ⅲ 経常外収益			
経常外収益計			0
Ⅳ 経常外費用			
経常外費用計			0
当期正味財産増減額			△ 425,693
前期繰越正味財産額			1,478,524
次期繰越正味財産額			1,052,831

財務諸表の注記

1. 重要な会計方針

計算書類の作成は、NPO法人会計基準(2010年7月20日 2011年11月20日一部改正 NPO法人会計基準協議会)によっています。

(2) 固定資産の減価償却の方法
定額法

(3) 消費税等の会計処理
消費税等の会計処理は、税込方式によっています。

2 事業別損益の状況

(単位:円)

科目	障害を持つ人の働く場、生活の場としての作業所の運営に関する事業	障害を持つ人の就労支援および地域交流事業	障害を持つ人、家族への生活相談事業	その他、目的を達成するために必要な事業	事業部門計	管理部門	合計
I 経常収益							
1. 受取会費	3,000				3,000		3,000
2. 受取寄附金	0				0		0
3. 受取助成金等	1,500,000				1,500,000		1,500,000
4. 事業収益	4,407,709				4,407,709		4,407,709
5. その他収益	21				21		21
経常収益計	5,910,730	0	0	0	5,910,730	0	5,910,730
II 経常費用							
(1) 人件費							
給料手当	1,864,827				1,864,827		1,864,827
臨時雇賃金	0				0		0
人件費計	1,864,827	0	0	0	1,864,827	0	1,864,827
(2) その他経費							
材料費	498,250				498,250		498,250
旅費交通費	93,070				93,070		93,070
その他	1,725,611				1,725,611	2,154,665	3,880,276
その他経費計	2,316,931	0	0	0	2,316,931	2,154,665	4,471,596
経常費用計	4,181,758	0	0	0	4,181,758	2,154,665	6,336,423
当期経常増減額	1,728,972	0	0	0	1,728,972	△ 2,154,665	△ 425,693

3 固定資産の増減内訳

(単位:円)

科目	期首取得価額	取得	減少	期末取得価額	減価償却累計額	期末帳簿価額
有形固定資産						
・ 建物	2,049,929		1,399,474	650,455	5,172,783	5,823,238
・ 機械及び装置	1,572,445		207,353	1,365,092	708,455	2,073,547
・ 工具器具及び備品	516,946		149,059	367,887	450,678	818,565
合計	4,139,320	0	1,755,886	2,383,434	6,331,916	8,715,350

4 借入金の増減内訳

(単位:円)

科目	期首残高	当期借入	当期返済	期末残高
長期借入金	4,087,000		732,000	3,355,000
役員借入金	1,050,576		174,985	875,591
合計	5,137,576	0	906,985	4,230,591

5 役員及びその近親者との取引の内容

役員及びその近親者との取引は以下の通りです。

(単位:円)

科目	計算書類に計上された金額	内役員及び近親者との取引
(活動計算書)		
受取寄附金	0	0
活動計算書計	0	0
(貸借対照表)		
未払金	0	0
役員借入金	875,591	875,591
貸借対照表計	875,591	875,591

貸借対照表

平成30年 3月31日現在

(単位:円)

科目	金額		
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	2,866,510		
未収金	0		
原材料	33,478		
流動資産合計		2,899,988	
2. 固定資産			
建物	650,455		
機械装置	1,365,092		
什器備品	367,887		
固定資産合計		2,383,434	
資産合計			5,283,422
II 負債の部			
1. 流動負債			
未払金	0		
流動負債合計		0	
2. 固定負債			
長期借入金	4,230,591		
固定負債合計		4,230,591	
負債合計			4,230,591
III 正味財産の部			
正味財産	1,052,831		
正味財産合計		1,052,831	
負債及び正味財産合計			5,283,422

平成 29 年度 財産目録

平成 30 年 3 月 31 日現在

特定非営利活動法人 上島ポップコーンの会

科 目 ・ 摘 要	金 額 (単位：円)		
I 資産の部			
1 流動資産			
現金預金			
現金 (現金手許有高)	32,165		
普通預金 (愛媛銀行弓削支店)	477,944		
通常貯金 (ゆうちょ銀行)	2,299,071		
郵便振替口座 (ゆうちょ銀行)	57,330		
未収金	0		
原材料	33,478		
流動資産合計		2,899,988	
2 固定資産			
建物	650,455		
機械及び装置	1,365,092		
工具、器具及び備品	367,887		
固定資産合計		2,383,434	
資産合計			5,283,422
II 負債の部			
1 流動負債			
未払金	0		
流動負債合計		0	
2 固定負債			
長期借入金 (日本政策金公庫新居浜支店)	3,355,000		
役員借入金	875,591		
固定負債合計		4,230,591	
負債合計			4,230,591
正味財産			1,052,831

(備考)

- 1 用紙の大きさは、日本工業規格A列4番とする。
- 2 前事業年度の末日現在における資産、負債及び財産を記載する。